

受講無料 2024年度(前期) 研修会のお知らせ

独立行政法人 労働者健康安全機構
宮城産業保健総合支援センター
〒980-6015 仙台市青葉区中央4-6-1
SS30 15階
FAX 022-267-4283 TEL 022-267-4229

- 申込方法** 当センターからのオンラインによる。
受付開始 開催日の前月1日（1日が土・日・祝日の場合は直後の平日）9：00から先着順にて受付
対象 衛生管理者、衛生推進者、安全衛生推進者、保健師・看護師、人事労務担当者等（メンタルヘルス推進担当者を含む）
※産業保健に係る業務を行う方は、どなたでも受講できます。
会場の都合上、お申込みは原則として1事業場につき3名様までとさせていただきます。
受講料は無料です。営利を目的とした情報収集はご遠慮願います。
- ご注意**
- ・会場、開始時間等は、研修により異なりますのでご注意ください。
 - ・会場は変更する場合がありますので、HPで確認してください。
 - ・お申込みをキャンセルする場合は、事前に御連絡ください。
 - ・研修会場内での撮影・録音は固くお断りします。

【 産業保健研修 】 令和6年7月5日 現在

研修番号	開催予定日時・場所	テーマ	概要	講師	定員	受付開始日
201	5月27日(月) 14:30~16:30 SS30 8階会議室	職場の喫煙対策 (105研修と同時開催)	受動喫煙の健康への影響、職場における受動喫煙防止対策に関する推進体制や施設整備、関係法令等について解説します。	東北大学大学院医学系研究科 産業医学分野教授 産業保健相談員 黒澤 一	25	4月1日
202	6月7日(金) 14:30~16:30 SS30 8階会議室	業務上疾病の労災認定基準 (106研修と同時開催)	労災保険制度、業務上疾病、脳・精神疾患の労災認定についてポイントを解説します。	宮城労働局 労災補償課 担当官	25	5月1日
203	6月10日(月) 14:30~16:00 SS30 8階会議室	高齢労働者に配慮した職場づくり (107研修と同時開催)	本講座では、エイジフレンドリーガイドラインを踏まえて、加齢に伴い高まる労働災害（転倒、腰痛、熱中症、脳・心臓疾患等）のリスクを確認するとともに、事業者に求められる対策の考え方や具体例について、実例を交えて説明します。	阿部産業安全衛生事務所 所長 産業保健相談員 阿部裕一	25	5月1日
204 (3日間受講可能な方対象) 昨年度カウンセリング3回シリーズを受講された方はご遠慮ください。	6月14日(金) 14:30~16:30 SS30 8階第2会議室A	初心者のための相談スキルアップ 研修3回シリーズ1回目(傾聴)	誰かに心の声を聞いてほしいと思うとき、よい聞き手との出会いは大切です。職場において、聞き手の役割を担っている立場である皆さんが良い聞き手となる学びを基礎からはじめてみましょう。	東北大学名誉教授 産業保健相談員 菊池 武烈	20	5月1日 一括受付
	6月21日(金) 14:30~16:30 SS30 8階第2会議室A	初心者のための相談スキルアップ 研修3回シリーズ2回目(聴く力を高めよう)	より良い聞き手となるために、前回学んだ基礎知識を基にロールプレイを通して、聞き手側、相談者側の立場を体験しながら具体的に学びましょう。	山形大学地域教育文化学部 地域教育文化学科教授 産業保健相談員 佐藤 宏平	20	
	6月28日(金) 14:30~16:30 SS30 8階第2会議室A	初心者のための相談スキルアップ 研修3回シリーズ3回目(事業場における『きく力』の活用)	「傾聴」について2回の学びを終え人の話を聴く事の重要性はご理解をいただけたと存じます。「きく力」を、産業の現場でどのように活用するのかについて、3回目はお伝えをしたいと考えております。	日本産業カウンセラー協会 東北支部事業推進部長 産業保健相談員 藤岡 奈美子	20	
205	7月2日(火) 14:30~16:30 WEB研修(※)	働く女性の健康管理	女性特有の健康課題は、女性活躍や就労継続を困難にすることもあり、予防・治療を行うことは、就労支援の観点からも重要です。働く女性に関連する法令や制度を学び、産業保健スタッフとしての関わりを考えます。この研修では、女性特有の健康課題と働く女性の健康管理について、事例検討を行いながら皆さんと一緒に学ぶ場にしたいと思います。相談事例がもしございましたら事前にご提供ください。	東日本旅客鉄道株式会社 仙台健康推進センター 産業医 竹澤 公子	40	6月3日
206	7月9日(火) 14:30~16:30 SS30 8階会議室	メンタル不調者の就業管理・復職について (108研修と同時開催)	メンタルヘルス不調者は、症状の再発・悪化を起しやすく、休職を未然に防ぐために十分な就業管理が必要です。また、休職となった場合、再休職を繰り返さないよう復職に早期から関与して社会的寛解状態になってからの復職を目指す必要があります。今回は、就業管理・復職についてのノウハウをお話しします。	泉こころのクリニック院長 産業保健相談員 高橋 玄	25	6月3日
207	7月16日(火) 14:30~16:30 SS30 8階会議室	職場における睡眠問題(睡眠習慣の問題と睡眠障害) (110研修と同時開催)	日本人全体の平均睡眠時間は短縮傾向にあり、最近の研究によって、睡眠と仕事の生産性には関わりがあること、多くの疾患と睡眠の状態に強い関連があることも分かっています。このセミナーでは、①睡眠と健康、睡眠不足の影響、②睡眠障害(不眠症、睡眠時無呼吸症候群など)、③睡眠チェック、④睡眠の質を高める習慣等についてお話しします。	東北大学病院睡眠医療センター センター長 小川 浩正	25	6月3日

研修番号		テーマ	概要	講師	定員	受付開始日
208	7月18日(木) 14:30~16:00 WEB研修(※)	事業場における熱中症対策	事業場における熱中症の予防対策、熱中症の症状及び応急処置について説明します。	大内産業衛生事務所 産業保健相談員 大内 みやこ	40	6月3日
209	7月22日(月) 14:30~16:30 SS30 8階会議室	発達障害者の理解と職場での対応	昨今、職場不適応事例の中には、発達障害(自閉スペクトラム症、ADHD、学習障害等)に起因すると思われるケースが、少なからず見られるようになっていきます。発達障害者は職場で理解されにくく、不適切な対応によって、うつ病などの二次的障害をきたすケースも多々見られます。発達障害者をどう受け止め、職場適応につなげていくかを考えていきます。	東北福祉大学総合福祉学部 福祉心理学准教授 産業保健相談員 中村 修	40	6月3日
210	7月24日(水) 14:30~16:30 SS30 8階会議室	新たな化学物質規制～化学物質管理者及び保護具着用管理責任者の選任について (111研修と同時開催)	労働安全衛生規則の一部が、令和4年5月に改正されたことにより、化学物質の自律的な管理が求められることになりました。令和6年4月1日から選任義務となっています。「化学物質管理者」「保護具着用管理責任者」を含めその概要を説明します。	岩淵労働環境改善研究所 代表 元仙台監警署長 岩淵 範好	25	6月3日
211	7月26日(金) 14:30~16:30 WEB研修(※)	「Z世代」などの若年労働者への対応や支援について	ラインケアや離職防止のためにも日頃の助言や指導は大切です。メンタルヘルス対策や人財育成の観点から若年労働者(15~34歳)や「Z世代」と呼ばれる20代の労働者の対応や支援を考えます。この研修ではブレイクアウトルームによる演習ワークを行います。	山形大学地域教育文化学部 地域教育文化学科教授 産業保健相談員 佐藤 宏平	40	6月3日
212	7月30日(火) 14:30~16:30 WEB研修(※)	メンタルヘルス不調者の職場復帰の進め方	メンタルヘルス不調のある休職者が職場復帰する際の留意点、問題点、また、職場復帰後に就労を継続していくために必要とされる各部署・主治医との連携等の様々な方策について、企業内産業保健職のとりべき対応方法を事例を交えて検討を行います。	仙南中央病院精神保健指定 医・精神科専門医 産業保健相談員 鈴木 淳平	40	6月3日
213	8月20日(火) 14:00~16:30 WEB研修(※)	ハラスメント発生時の対応と再発防止について	この研修では、「パワーハラスメント防止のための指針」を分かりやすく解説した後、発生しがちな事例をもとに、事実調査の方法や相談対応、再発防止策について、皆さんと一緒に考えます。	富樫社会保険労務士事務所 所長 産業保健相談員 富樫 敦子	20	7月1日
214	8月22日(木) 14:30~16:30 SS30 8階第2会議室A	「健康経営」を実践する職場環境について	とかく話題になっている「健康経営」ですが、身体の健康についての取組は実践できていても、心の健康についての取組がおろそかになっていないでしょうか。この研修では、ストレスチェックの集団分析を活用し、メンタル不調者を出さない、いきいきとした職場環境のつくり方について解説します。	日本産業カウンセラー協会 東北支部事業推進部長 産業保健相談員 藤岡奈美子	20	7月1日
215	9月5日(木) 14:30~16:30 WEB研修(※)	メンタルヘルス事例検討	事業場で抱えているメンタルヘルスの問題事例の解決方法などについて、班別に検討を行い、講師からも解決に向けたアドバイスをいただきます。	医療法人社団千葉神経科内科 クリニック院長 産業保健相談員 千葉 健	20	8月1日
216	9月9日(月) 14:30~16:30 WEB研修(※)	定期健康診断結果の読み方と事業所で行うべき配慮・指導について	定期健康診断の結果について、項目別に結果の意味合いを説明します。また、健診結果に基づき、事業者が行うべき配慮・指導内容を説明します。	花京院健康管理センター所 長 産業保健相談員 清治 邦章	40	8月1日
217	9月11日(水) 14:00~16:30 WEB研修(※)	治療と仕事の両立支援 会社はどうしたらよいか?	がん等の病気で休職した労働者(病気が原因でメンタル不調を生じた者を含みます。)の復職で困ったり、復職せずに退職してしまった労働者はいませんか? この研修では、治療と仕事の両立支援について「会社はどうしたらよいか?」という視点から、「ガイドライン」を基に両立支援を進める際のポイントについて概要をご説明します。	富樫社会保険労務士事務所 所長 産業保健相談員 富樫 敦子	20	8月1日
218	9月13日(金) 14:30~16:30 SS30 8階第2会議室A	改正THP指針を踏まえた健康保持増進対策	事業場における労働者の健康保持増進のための指針(THP指針)は、2020年に大幅に改正され、事業場の実情に応じて実施することとされました。これを踏まえ、皆様の事業場における取組について、グループワークで情報交換を行っていただきます。	大内産業衛生事務所 産業保健相談員 大内 みやこ	20	8月1日
219	9月30日(月) 14:30~16:30 WEB研修(※)	うつ病等のメンタル不調で休職している方に対するアセスメントとリワーク支援	本研修では、宮城障害者職業センターが実施している方に対する、リワーク支援の実施概要、アセスメントとカリキュラム内容についてご紹介します。	宮城障害者職業センター リワークカウンセラー 小田島 邦彦	40	8月1日

※WEB会議システムは、Zoomを使用します。

受講には、インターネットに接続するパソコン・スマートフォン等、マイク・カメラ、スピーカー又はイヤホン、Wi-Fi環境、メールアドレスが必要になります。(マイク・カメラ・スピーカーは、パソコン等に内蔵されているもので結構です。)

インターネット通信にかかる費用は、受講者負担となります。

受講申込は、当センターHPからオンラインで受付します。当センターHPは「宮城産保」で検索してください。

受講方法等の詳細については、受講申込受付後、受講者あてメールにてお知らせします。

配信した音声・映像の録音・録画は、不可とします。